

他教科でも活用できる学習教材事例 1 (政治・経済等)

日本の人口推計

高等学校学習指導要領解説公民編「政治・経済」(3)現代社会の諸課題 ア現代日本の政治や経済の諸課題 において、少子高齢社会と社会保障について、「例えば、少子高齢社会に伴う問題点を家族、介護、雇用、年金、医療など様々な面から調べさせ、その解決のための方法について探究させることが考えられる」とあり、少子高齢社会の現実を把握するために人口推計などの資料を使用することが適切であると考えられる。また、「現代社会」においても、現代社会の諸課題の一つとして少子高齢社会を取り扱っていて、参考資料として活用することが考えられる。

平成22年に国勢調査が行われており、そのデータが総務省統計局から公表されているので、これを元に人口推計を行うシミュレーションを作成した。なお、数値の四捨五入などによる若干の誤差があることに加え、死亡率や出生率の変化は一律に行う設定であるので、やや現実離れた結果になる可能性があるが、生産年齢人口が全人口に占める割合など、人口問題は長期にわたって解消が困難な課題であることを認識できる。

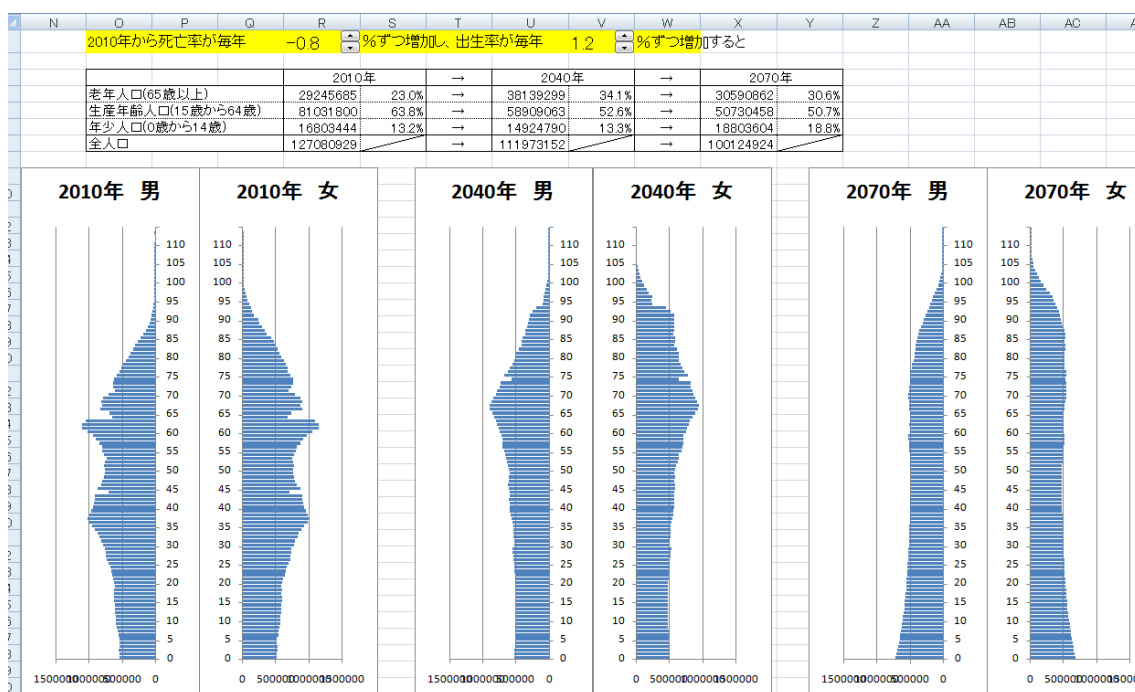


図 3 1 人口推移資料